

平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 東 洋 合 成 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 村 正 輝
 (J A S D A Q コード番号 4970)
 問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 経 営 企 画 部 長 木 村 有 仁
 電 話 番 号 0 4 7 - 3 2 7 - 8 0 8 0 (代 表)

**通期業績予想の修正および配当予想の修正ならびに株主優待制度の一部変更
 に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 9 日付「特別利益、特別損失の発生および平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 21 年 3 月期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、「平成 20 年 3 月期 決算短信 (非連結)」にて公表いたしました期末配当予想の修正および株主優待制度の一部変更につきまして、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	12,500	△500	△700	△750
今 回 修 正 予 想 (B)	12,200	△700	△900	△970
増 減 額 (B - A)	△300	△200	△200	△220
増 減 率 (%)	△2.4	—	—	—
前 期 実 績 (平 成 20 年 3 月 期)	15,002	474	299	159

(2) 修正の理由

通期の業績見直しにつきましては、平成21年2月9日付にて公表いたしました業績予想の修正以降も、景気の悪化が続いており、特に主力の感光性材料需要の落ち込みが想定を上回って推移したため、売上高につきましては前回予想を下回る見込みであります。

営業利益および経常利益ならびに当期純利益は、一層の経費削減に努めておりますが、大幅な減産の継続に伴う稼働率の低下などにより前回予想を下回る見込みであります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
前回予想 (平成20年5月12日)	6円00銭	6円00銭	12円00銭
今回修正予想	—	0円00銭	6円00銭
当期実績額	6円00銭	—	—
(ご参考) 前期(平成20年3月期)実績	7円50銭	7円50銭	15円00銭

(2) 修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、安定配当の維持を基本に、会社の安定的な経営基盤の確保とのバランスに配慮しながら、会社の業績、配当性向、内部留保等を総合的に勘案し、決定することを基本方針としております。

しかしながら、通期業績予想の修正および足元を含めた市場環境の先行き不透明感の強まり、ならびに当社の財務体質等を総合的に勘案し、期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただくことといたしました。

3. 株主優待の一部変更

(1) 変更の内容

所有株式数	現行	変更後
100株以上	<ul style="list-style-type: none">・権利確定日 <u>3月31日</u> <u>9月30日</u>・贈呈品 2,000円相当の千葉県特産品を <u>年2回</u>	<ul style="list-style-type: none">・権利確定日 <u>3月31日</u>・贈呈品 2,000円相当の千葉県特産品を <u>年1回</u>

(2) 変更の理由

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝すべく、平成17年3月期より株主優待制度を導入しておりますが、昨今の当社を取り巻く事業環境は厳しさを増しており、業績状況等を含め総合的に検討を重ねました結果、誠に遺憾ではございますが当該制度を一部変更させていただくことといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(3) 変更の時期

昨年、平成20年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上の株主の皆様への贈呈を持ちまして、年2回の優待品の贈呈を廃止させていただきます。

なお、本年、平成21年3月31日も含めまして、毎年3月31日現在の所有株式数が1単元(100株)以上の株主の皆様につきましては、年1回の優待品を引き続き贈呈させていただきます。

4. 役員報酬の減額等（継続）

現状の厳しい経営状況および市場環境の先行き不透明感の強まりを鑑み、平成21年4月8日付「役員報酬の減額等の継続に関するお知らせ」にて公表しておりますとおり、取締役および執行役員の月額報酬の減額を本年9月まで継続しております。

また、監査役より監査役報酬の自主返上継続の申し入れを受け、同じく実施しております。

5. 経営改善計画について

当社は、厳しい経営環境下においても着実に収益を上げられる競争力のある事業体質を構築するため、コスト構造の抜本的な見直しを進めてまいります。また、安全操業に努め、安定した事業運営を行ってまいります。

（1）製造原価の低減

- ・コスト構造の抜本的な見直しに向け、製造工程の改善および原材料コストの引き下げを進めております。なお、原材料コスト引き下げの一環として、調達担当部署を強化し、原材料調達コストの削減を進めております。
- ・最適な在庫管理水準の維持に努め、お客様への安定供給責任を果たすとともに、在庫管理コストの最小化を進めてまいります。

（2）営業・研究開発体制の強化

- ・営業部門と研究部門の連携を強化し、マーケティング機能の充実化を図るとともに、市場動向を的確に把握し、お客様のニーズへ柔軟に対応できる体制を構築いたします。

（3）組織力の強化

- ・業務の標準化を進め、人員配置を適正化することにより、柔軟な組織運営を行ってまいります。
- ・人的資源の育成と活性化のための仕組みを構築し、魅力的な会社組織・風土作りを進めてまいります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しているものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上